

京都府あけぼの賞表彰式

「京都府あけぼの賞」は、男女共同参画による豊かな地域社会の創造に向けて、女性の一層の能力発揮を図るため、各分野での功績が著しい女性に京都府知事が授与するものです。今年度は5名の個人と1団体の方々が受賞されました。



京都府あけぼの賞表彰式

AKEBONO Award Ceremony

令和4年度 京都府あけぼの賞受賞者



アーティスティックスイミング選手

いぬい ゆきこ
乾 友紀子さん

「第19回世界水泳選手権大会」アーティスティックスイミングソロ・テクニカルルーティン及びソロ・フリールーティンで日本勢初の二冠達成。数々の世界大会やオリンピックに出場し、日本のエースとして活躍。



みずのき美術館キュレーター
Social Work/Art Conference ディレクター

おく やま り こ
奥山 理子さん

障害のある人の芸術的表現の考察や、多様な交流を生み出すアートプロジェクトの実践、また福祉や教育などの多様な分野とアートとを結び、課題解決していくための相談事業を展開するなど、幅広い分野で活躍。



舞台演出家、脚本家、作詞家

こばやし かおり
小林 香さん

女性の少ない舞台演出の分野において若くから第一線で活躍し続ける。子育て中の現在も数々の海外ミュージカルの演出を行う他、ジェンダー問題に言及したオリジナルミュージカルの制作を手がけるなど、精力的に活動。



金工作家

たか かし あ こ
高橋 阿子さん

金属工芸の中でも蠟型鑄造という技術に精通。長年にわたり展覧会へ出品して受賞を重ね、2021年に「第68回日本伝統工芸展」で「東京都知事賞」を受賞するなど作品は高く評価され、2022年3月に「京都府指定無形文化財保持者」に認定。



京都大学数理解析研究所 助教

やま した ま ゆ こ
山下 真由子さん

図形や空間などの「ものの形」について研究する分野を専門とし、2022年には国際的に期待される若手女性研究者を表彰する「第1回羽ばたく女性研究者賞(キュリー賞)」最優秀賞に輝いた。国境を越えた研究活動も行っており、今最も輝く女性研究者の一人。



要約筆記により話し言葉を書き言葉にして情報を伝える活動

よう やく ひっ き
要約筆記サークル くさぶえ

長年にわたり、要約筆記を通して難聴を抱える人たちのコミュニケーションを助け、積極的な社会参加を応援する活動を行い、2021年に「ボランティア功労者厚生労働大臣表彰」を受賞。